

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	人	-	-	-	-	85,100
	実績		17,000	35,400	55,400	73,800	
成果指標	目標	%	-	-	-	-	60.0
	実績		57.2	53.8	50.0	48.2	
活動指標	目標	%	-	-	-	-	39.0
	実績		36.0	75.0	76.7	61.5	

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
昨年度は、若干入館者数が減少したものの、年間2万人前後の入館・施設利用が定着してきており、概ね良好に利用が図られている。	より自主的な施設の利活用を促進するため、指定管理者制度導入の協議・調整を進める。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
平成22年度に名張まちなか再生委員会が解散し、まちなか再生プランの残事業の事業化は困難な状況であったが、昨年名張地区まちづくり推進協議会が策定した地域ビジョンにおいて、再生プランの考え方が継承されるなど、再生プランに変わる新たな計画、再生委員会に変わる新たな推進体制が築かれつつある。	名張らしさを活かすまちづくりを行い、一定の収益を生み出すことにより、長期に継続して運営できる施設としての管理体制が必要である。

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない	

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項